

わたしは、にんげん、といいます
仲良くできますか



杉本真維子展

第31回 萩原朔太郎賞受賞者

2024

6/8[土]—9/23[月]

開館時間：9時～17時（入館は30分前まで）

休館日：水曜日

会場：前橋文学館2階 企画展示室

観覧料：500円（高校生以下無料）

※障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名無料

※同時期開催の「平井晩村展」および常設展示もあわせてご覧いただけます。

※無料観覧日 6/8(土) 展覧会初日、7/5(金)・6(土)・7(日) 前橋七夕まつり、9/3(火) 開館記念日

協力 新潮社、東和銀行

※サテライト展示：6/17(月)～7/5(金) 会場：東和銀行本店



展覧会案内サイト



萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち

前橋文学館



望みは言葉そのものになること、何者でもなく何者でもある位置で生きぬくことです。

杉本 真維子 (すぎもと まいこ)

1973年生、長野県長野市出身。長男で自由人の父と、秋田県の旧家出身の母の一人娘として育つ。5歳のときに元軍人の祖父、高等女学校を出て飲食店を経営する祖母、華道家元池坊准教授(当時)の叔母と同居し6人家族となる。物心ついたときから祖母、叔母、母たちによる雅楽の合奏と生け花を眺め、古き日本の情緒のなかで過ごす。学習院大学文学部哲学科卒。2002年第40回現代詩手帖賞受賞。第1詩集『点火期』(思潮社、2003年)、第2詩集『袖口の動物』(思潮社、2007年、第58回H氏賞・第13回信毎選賞受賞)、第3詩集『裾花』(思潮社、2014年、第45回高見順賞受賞)、散文集『三日間の石』(響文社、2020年)などを刊行。2023年、第4詩集『皆神山』で第31回萩原朔太郎賞を受賞。2008年より宇都宮アート&スポーツ専門学校文芸創作科で現代詩研究を指導。2023年より日本現代詩人会副理事長。詩や小説の批評も多数寄稿。2024年『現代詩文庫・杉本真維子詩集』を刊行予定。

幼い頃に書いた紙芝居。詩人になるための時代と投稿時代。そしてデビュー以降の活動。第一詩集『点火期』から受賞作の詩集『皆神山』まで、詩人・杉本真維子の創作の足跡を辿ります。『皆神山』の詩24篇に紡がれた言葉の超越的なイメージと反転性が私たちに訴えてくるものはなにか、杉本氏自選の詩篇を、書下ろしの散文とともに展観します。



<皆神山について>

皆神山は長野市松代町にある霊験あらたかな独立峰。標高659m。頂上には皆神社がある。世界最大最古のピラミッド、発光現象、UFO到来など、オカルト的な伝説が絶えない。



第31回萩原朔太郎賞受賞作『皆神山』
2023年4月、思潮社

『現代詩手帖』連載詩「なおさないよエリ」(2015~2016年)や近年新聞・雑誌等で発表された作品から選ばれた24篇、第4詩集。言葉を持たないものたちの言葉があふれる。



『点火期』2003年9月、思潮社
詩人の登龍門と呼ばれる第40回現代詩手帖賞受賞後に刊行された第1詩集。同人誌、現代詩手帖新人欄などで発表された作品や未発表作など20篇を所収。

しじみ、と思ったら、自分の目が映っていた、具のないみそしるを一口のんで、両目を嚼る、あじは、おれの刑期にふさわしく、ざりり、と音までしやがった、という

詩集『皆神山』所収「しじみ」より



『三日間の石』2020年6月、響文社
図書館(連載・裏百年まち)に掲載された2008年から2018年までの作品を中心にまとめたエッセイ集。装幀は菊地信義による最初で最後のドイト装。



『裾花』2014年10月、思潮社
2008~2014年に発表された作品を集めた第3詩集。2015年、第45回高見順賞受賞。2020年、台湾にて中国語版(蔡雨杉訳)も刊行された。



『袖口の動物』2007年10月、思潮社
新聞、雑誌等で発表された作品を選び、すぐ第2詩集として刊行。第58回H氏賞と第13回信毎選賞を受賞。思潮社によるシリーズ「新しい詩人」の一作。



『ぼったくり』1998年春のレーター
1998年ワープロ原稿。デビュー前の20代半ば、ペンネーム神田雄(ひえだつなぐ)として書かれた数少ない作品のひとつ。学習院大学文芸部の同人誌に発表。



『切られた口』2004年
詩人たちがそれぞれの詩とオブジェを展示する「おかえり」展(2004年、Pepper's Loft Gallery、銀座)に出品。ガラスの中と外側に小さな文字が散乱している。発語の瞬間を視覚化したもの。



◎アクセス◎

電 車：JR前橋駅北口から徒歩約15分/タクシーで約10分
上毛電鉄中央前橋駅から徒歩約5分

バ ス：JR前橋駅北口バスのりば

- ・3番のりばから「中央前橋駅」行き(シャトルバス)
「中央前橋駅」下車 徒歩約5分
- ・6番のりばから「荻窪公園・磯公園」行き
「城東町二丁目バス停」下車 徒歩約5分

自動車：関越自動車道 前橋ICから車で約15分

※広瀬川サンワパーキング(市営P城東)のご利用に際しては、駐車券に割引処理をいたします。



萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち

前橋文学館

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町三丁目12-10
TEL.027-235-8011 FAX.027-235-8512
https://www.maebashibungakukan.jp

展 覧 会 関連イベント

6月8日[土]より受付開始 ご予約先 TEL:027-235-8011
イベント2、3のお申し込みは事前予約制となります。 参加費：無料

イベント1

杉本真維子ギャラリートーク
杉本氏が詩集『皆神山』について語ります。

○日時：6/8[土] 15:00~(30分程度)
○会場：2F企画展示室 ※予約不要

イベント2 ワークショップ

子供も大人も楽しめます。夏休みの自由研究にぜひ！
小石を観察して詩をつくろう！ 講師：杉本真維子

○日時：①7/27[土] 14:00~15:30 ②7/28[日] 10:30~12:00 ③14:00~15:30
○会場：3Fホール ○定員：各回20名(予約制) ○対象：小学3年生から大人まで
○持ってくるもの：※小石を探し、気に入ったもの一つをお持ちください。
無い場合はお貸し出します。

イベント3 対談 駒ヶ嶺朋乎(詩人・医師) × 杉本真維子

駒ヶ嶺朋乎(こまがね ともお)
1977年生、東京都出身。2000年第38回現代詩手帖賞受賞。2013年獨協医科大学卒業。医学博士。日本神経学会認定神経内科専門医。

○日時：8/24[土] 15:00~16:30
○会場：3Fホール
○定員80名(予約制)

担当学芸員による ギャラリーガイド

○日時：7/6[土] 15:30~
○会場：2F企画展示室
※予約不要